

評価基準	評価段階				
	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
基準1 課題設定 (先行研究レビュー、問題意識や目的の明確さ、研究の意義など)	問題意識や目的は漠然としており、学問的・社会的意義や新規性に欠ける	問題意識や目的は不明確であり、学問的・社会的意義や新規性に乏しい	問題意識や目的はある程度明確であるが、学問的・社会的意義、新規性のいずれかに不足がある	問題意識や目的は明確であり、学問的・社会的意義、新規性を有する	問題意識や目的はかなり明確であり、学問的・社会的意義、新規性が高い
基準2 研究方法 (目的との整合性、再現性、過不足ない記述など)	研究目的と全く整合せず、記述も全く不十分・不正確であるため、再現性に乏しい	研究目的と整合しない部分があり、記述に不十分・不正確な点が多いため、再現性が疑わしい	研究目的とある程度整合しているが、記述に不十分・不正確な点が残るため、再現性に不足がある	研究目的と整合しており、記述は必要十分かつ正確であり、再現性を有する	研究目的とよく整合しており、記述は必要十分かつ正確であり、再現性が高い
基準3 結果の分析 (分析方法の妥当性、結果の明確さなど)	分析方法の選択に妥当な根拠がみられず、分析結果の提示も全く不明確である	分析方法に疑わしい点があり、分析結果の提示に不明確な点が多い	分析方法は妥当であるが、分析結果の提示に不明確な点が残る	妥当な分析方法が選択され、分析結果は明確に示されている	妥当な分析方法が選択され、分析結果が過不足なく明確に示されている
基準4 考察 (考察の妥当性、今後の発展性、論旨の一貫性など)	研究目的に照らした考察が全くなされておらず、論旨は漠然としているか、飛躍がある	研究目的に照らして考察は不十分な点が多く、論旨の一貫性も疑わしい	研究目的に照らした考察はある程度なされているが、論旨に不明確な点が残る	研究目的に照らした考察がなされており、論旨も一貫していて、今後の発展性が期待できる	研究目的に照らした妥当な考察がなされており、論旨も一貫していて、今後の発展性が高く期待できる
基準5 執筆 (表現の適切性)	文章や図表の形式・内容が全く整っていない	文章や図表の形式・内容に不十分な点が多い	文章や図表の形式・内容に不十分な点が残っている	文章や図表は形式・内容とも整っている	文章や図表はよく推敲されている
基準6 発表 (発表及び質疑応答の適切性など)	発表の形式・内容が全く整っておらず、質疑にも応じられなかった	発表の形式・内容に不十分な点が多く、質疑に対しても表面的な応答に終始した	発表の形式・内容に不十分な点があり、質疑への応答にも不明確な点があった	発表は形式・内容とも整っており、質疑にも適切に応答した	発表はよく推敲され、質疑にも適切に応答し、発展的な議論が行われた
基準7 研究者の責務 (公正性、倫理的配慮、法令遵守など)	研究の計画・実行において公正さや倫理的な配慮が全く実践できなかった 法令や倫理基準に反する言動があった	研究の計画・実行において公正さや倫理的な配慮に不十分な点があり、研究者の責務に疑わしさが残った	研究の計画・実行において公正さや倫理的な配慮に不十分な点はみられなかった 法令や倫理基準に違反しなかった	研究者の責務を理解し、倫理的な配慮や公正さをふまえて研究を計画・実行した	研究者の責務をよく理解し、倫理的な配慮や公正さをさらに追求する姿勢がみられた

判定基準：レベル4以上を望ましい水準とするが、平均してレベル3相当に達していれば合格と判定可能（ただし、基準7についてはレベル3以上を必要とする）